

武石地域協議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 武石地域協議会 |
| 2 | 日 時 | 平成 23 年 6 月 23 日 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分まで |
| 3 | 会 場 | 武石地域自治センター 第 1 会議室 |
| 4 | 出席者 | 上野正司委員、北沢賢二委員、清住章雄委員、清住洋子委員、越 博徳委員、小宮山昌武委員、小山洋江委員、下村孝明委員、滝沢由美子委員、竹内利通委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、樋澤たえ子委員、森美由紀委員、柳沢裕子委員（欠席 5 名）新井繁雄委員、大沢春樹委員、松代典之委員、松井幸夫委員、柿畷祐子委員、 |
| 5 | 市側出席者 | 伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、山口市民生活課長、近藤健康福祉課長、牛山産業観光課長兼建設課長、児玉地域振興課長補佐（欠席）掛川武石教育事務所長、 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0 人 記者 0 人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 23 年 7 月 20 日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課 |

協 議 事 項 等

- 1 開会（滝沢副会長）
- 2 会長あいさつ（清住会長）
①内外の状況について ②本日の協議予定について
- 3 センター長あいさつ（伊藤センター長）
①公社、事業団の統合について ②番所が原スキー場整備事業の状況について ③ピークカットチャレンジについて ④夏祭りについて
- 4 報告事項
(1) 丸子小牧線の復旧見込みについて
資料に基づいて説明（丸子地域自治センター建設課長）
（委員）トンネルが完成したらどのくらい時間短縮になるか。
（丸子地域自治センター建設課長）所要時間は同じだが、天候や季節などによる通行規制や災害の可能性がなくなり、安心して通行できるようになる。トンネルができるということは丸子、武石、上田地域の利便を一体で考えられるようになったからで、合併の効果といえる。
(2) 地域まちづくり方針の答申後の文章の調整について
資料に基づいて説明（事務局）
（会長）事務局の説明通り修正したいがよろしいか。
—— 委員了承 ——
(3) 地域持ち寄り分基金の概要について
資料に基づいて説明（事務局）
（委員）基金は合併して何年かすれば一緒になってしまうと聞いたが、ずっと継続するか。
（事務局）基金が一緒になることはない。地域で必要になれば使うし、そうでなければ後世のために保留しておくということ。
（委員）上田市は使っていないようだが。市の予算ですべてできているということか。
（事務局）合併して、制度が違っていたものを調整するためや激変緩和に使ってきたが、上田市はそういう面で使う必要がなかった。
- 5 協議事項
(1) 雲溪荘の現状と課題について
【資料説明】（産業観光課）
①施設の概要
②職員の状況
③収支の状況

④稼働率

⑤改善に向けた取り組み

⑥今後の整備（現状を維持するための改修と投資的改修）

（産業観光課長）地域の要望を基に地域の福祉増進のために当時の村が作った施設であり、30年以上にわたり住民の保養や観光の拠点として役割を果たしてきた。時を経て市の施設となったが施設は老朽化し、住民や観光客のニーズは変り、維持・管理・経営が厳しいものになっている。今後、老朽化の改善経費に2400万円が必要とされ、エレベーターやトイレ付客室の整備、露天風呂の新設など利用者ニーズに答える新たな整備を行うとすれば2億円以上の投資が必要と計算されている。この施設をどう維持していくか。将来のあり方について廃止も含めて検討する時期に来ている。

【主な質疑・意見】

（会長）前回は指定管理を受けている公社の立場から雲溪荘について発表いただいたが、今回は市の立場で担当課長に現状と課題をお話しいただいた。ここで皆さんのご意見をお聞きしながら、どういう方向に行くか決めていただきたい。7月に公社が合併するが、この3年間は、同じように運営していくことになっている。結論を出すには3年という時間は短い。さっそくみなさんにご意見をお聞きして、地元の皆さんにも現状をお話しいただいて議論を広めていきたい。Y委員には文章で提案をいただいている。それも含めて皆さんで協議いただきたい。

（委員）経営体制を全部変えないと雲溪荘は変わらないと思う。先日、雲溪荘の経営改善を担当していた経営コンサルタントの方とお話をする機会があった。雲溪荘の改善に1年取り組み任期を終えたが、現在も雲溪荘のあり方についていろいろ考えておられるようだ。数字だけを見てあり方を考えるのではなくコンサルタントの状況分析や今後のあり方などを地域協議会で聞いてほしい。

（会長）公社の経営を改善したいという願いで、公社でコンサルタントを21年9月から22年9月まで導入した。その結果をまとめた報告書を公社ではもらっているし、提言もいただいている。それについては、人員配置や建物の改築などを含んでいることから、実際にできるかどうか公社で検討しているところである。

（委員）コンサルタントの意見が職員に浸透しないという話を聞いた。また、練馬の人からは武石らしいものを求めているが雲溪荘には無く、2度は行く気にならないという話も聞いた。職員の意識改革を望む。

（委員）現在の経営を全部変えろということではなく、美ヶ原など他のところへ回るコースも考えて、魅力ある集客を考えたらどうか。

（委員）ビーナスラインが無料になったので、観光客が武石を経由しなくなっている。雲溪荘だけで魅力を作っていかなければならない状況だ。個人的には雲溪荘の継続は難しいと思っている。雲溪荘の継続にこだわって他の事業の経営を圧迫するのは困る。

（委員）利用者のニーズに答えて、3億円近くかけて改築しても利用者が来ればいいけれど、その保証はない。他では立派でなくても大勢人が来るところもある。大河ドラマの地元が観光客であふれるように、施設の充実でなく集客の工夫だと思う。

（会長）現在のやり方を変えなければいけないと思うが、適任がいなかったり人手不足から現在は営業職を置いていない。

（委員）どうせお金を使って経営を変えるなら、1日に何人とお客を限定したらどうか。引きつけるものがないと人は来ない。雲溪荘のお風呂はとてもいいので無くしてしまうのはもったいない。規模を縮小したらどうか。

（委員）耐震診断や耐震補強でお金がかかりすぎる。いっそのこと壊して建て替えたらどうか。

（会長）やるとするなら民間でやらなければならない。これからの公社は公益事業が中心となる。市の宿泊施設は雲溪荘と鹿月荘があるが、殆どの利用は外部の人、地元の人には使わない。建て替えるとなると議論が必要。この地域の人を利用する施設ならば、税を投入しても良いということになる。

（センター長）建物は市のもので公社は管理を任されているだけ、この状況をご理解いただきたい。開設当時は地域の人々は皆、公社が経営をずっと受けて継続していくと思っていた。しかし、状況が変わり、現在は公社のあり方が変わり、また合併もあって、行政と公社が同じ考えで雲溪荘を経営していくということではなくなった。市民の中には福祉的に経営するのならまだしも、市が宿泊施設を持っているのはいかがなものかという考え方が少なくない。地域協議会の皆さんには、事業団は雲溪荘の運営を受託しないということになったら市はどうしたらいいか。市は雲溪荘を経営するべきか、その所をお考えいただきたい。

（委員）事業団は経営から撤退したが、地域協議会は雲溪荘を存続すべき、となったなら、最終的にどこが方向を決断するのか。

（センター長）市が予算を認めなければ、運営はできない。市が税を使って投資する価値があるか、投資したお金を回収する見込みがない。または、福祉の向上に寄与できない、と考えたら市は予算を認めない。

（委員）もし廃止となったなら施設はどうなるのか。

(センター長)後利用がないとすれば、景観等考慮して取り壊すということになる。
(委員)取り壊すにしても大金がかかる。とんだ負の財産を受け継いだということだ。
(センター長)30 数年間、地域のためになり、多くの住民が恩恵を受けたということで、悪いことだけではなかったとお考えいただきたい。
(会長)雲溪荘を残していくにはどうしたらいいかという議論をお願いしたい。
(センター長)開発公社にすべてやってもらうというのは難しい。市が経営するにはどうしたらいいか、民間の力を借りたらいいか。どう論議をしていったらいいかお考えいただきたい。
(会長)Y委員が言われるようにコンサルタントが1年かけて経営を見直し、今後に向けて提言している。その話を聞いたらどうか。
(委員)雲溪荘については地域に密着した問題なので、地域協議会で方向性を出す必要がある。
(会長)地域の皆さんに聞けば雲溪荘はあったほうがいいと答える。しかし、住民の皆さんの中に雲溪荘を残して守っていくという熱意がなければ行政は動かないと思う。
(委員)いずれにしてもコンサルタントの意見を地域協議会で聞くべきだと思う。
(センター長)コンサルタントを呼ぶことが皆さんの総意なら、依頼した公社にお願いしてみたらどうか。
(会長)私は公社の理事をしていたので依頼することは可能と思う。
(委員)H21～22年にわたり、コンサルタントを導入したが、結果赤字が増えている。効果は表れたのか。
(会長)平日の宿泊料金を値下げしたり、米粉うどんなど特産品を作るなどしたが、若干利用が増えるにとどまっている。効果が出るのは2年先、3年先になると思っている。
(委員)雲溪荘は収益だけで地域のためになっているわけではない。私も今までお風呂を利用させていただいて恩恵にあずかってきた。できることならずっと存続していただきたいとおもう。民間の方に買っていただいて整備できたらと思うが、民間経営でもうまくいかず放っておかれてしまっても困る。須坂温泉は、経営困難に至ったが、民間の人が買い取って経営した結果、今は高級旅館として、なかなか予約が取れないほど賑わっていると聞く。雲溪荘とは立地が違うので同じにはならないと思うが、温泉の再生をコンサルタントの人の話を聞いて検討していきたい。
(会長)コンサルタントの話聞くということでよろしいか。(コンサルタントの氏名、経歴の概要を説明)
—— 委員了承 ——
(会長)それでは次回にコンサルタントの話が聞けるよう、私のほうで手配をしたい。
(委員)コンサルタントのインターネットのブログがあるので、事前に見ておいてほしい。

6 その他

(1) 景観計画住民説明会の開催について(事務局)

7月20日(水)午後7時から、武石公民館で開催予定、参加願いたい。

(2) 次回日程

協議の末 7月27日(水)と決定する。

7 閉会 (滝沢副会長)